

◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	社会体育施設			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	草津市教育委員会	スポーツ推進課	初年度	68,929,457円	16,546,920円	90,760,227円	利用料金収入は概ね目標に達したものの、電気代をはじめとする物価の高騰等の影響もあり苦しい状態である。	「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津の実現」「する みる 支える 知る」ALL くさつ”でつなぐ健幸スポーツのまち”
施設HPアドレス	http://@sports932.net		2年目					
指定管理者名	合同会社草津市スポーツ振興事業体		3年目					
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和8年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	平成22年4月
施設の供用開始日	昭和46年から順次供用開始
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津の実現」に向けて、ALL くさつでの施設運営管理に取り組み、「する みる 支える 知る」ALL くさつ”でつなぐ健幸スポーツのまち”をスポーツ振興事業を通じて、にぎわいのあるスポーツ文化の醸成を図る。 施設管理目標(令和4年度) ・施設利用者数 570,000人(都市公園を含む) ・教室開催回数 1,000教室(都市公園を含む延べ回数)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 総合体育館の改修工事に伴う約8か月間の休館や、新型コロナウイルス感染症の流行などの影響を受けながらも、活動場所の確保のための別施設を休館日に臨時開館したことや、利用者が安全・安心に利用していただける感染対策を講じたことで、施設利用者数が目標を達成したことは評価できる。 また、8月からFMくさつにおいて月1回のラジオ番組を放送し、施設の魅力や教室等を発信することにより、スポーツをするきっかけづくりとなるよう努められていることも評価できる。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 施設管理運営は、指定管理者の申請内容に基づいて管理運営を行いました。総合体育館屋根等改修工事のため7月11日から2月10日までの期間は、臨時休館としましたが、同期間においてふれあい体育館およびYMITアリーナの休館日の臨時開館を行い市民のスポーツ活動のための機会(場所)の提供に努めました。コロナ感染症対策として、利用者へ安心・安全に利用していただくために、換気の徹底・消毒液・非接触検温器の設置、社員による施設および備品の消毒等を行うと共に、社員のマスクの着用および出勤時の検温、不要不急の外出を控えるなどの対策を講じました。大会やイベントは、規模の縮小や観覧者の制限等がある場合もありましたが、通常開催に戻りつつあります。また、一般利用は、社員の真摯な接客態度や運営管理を認めていただき、概ね通常の水準を回復しました。利用料金収入は、概ね目標に届いたものの、電気代をはじめとする物価の高騰の影響もあり苦しい財政状況となりました。事務の執行にあたってはコンプライアンスを徹底して公共性や公平・公正を基本とした管理を行いました。 施設管理実績(令和4年度) ・施設利用者数 670,758人(社218,622人+都452,136人) ・教室開催回数 754教室(共催・後援事業などを含む/都市公園を含む延べ回数)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 利用料金制を導入することにより、指定管理者のインセンティブが発揮され、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大いに受けたものの、適切な感染症対策等を取り、安全・安心に利用できる環境を整えたことによって、概ねコロナ禍前の水準にまで回復した。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の利用に関する業務 ・体育施設の施設および設備の維持管理に関する業務 ・体育、スポーツ活動等の指導に関する業務 ・利用料金の設定などの利用料金制の運用に関する業務 ・体育施設の適切な運営と施設利用者の利便を図るための事業の実施に関する業務 	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

社会体育施設の管理運営に関する職員研修			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	認知症サポーター養成研修・インボイス制度対応研修をWebで開催しました。防火管理者による消防訓練(消火、通報)を実施しました。ふれあい体育館利用者の緊急搬送(9月22日)時には、社員が適切な対応(AED・心肺蘇生)を行いました。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	人権(セクハラ・パワハラ)研修、心肺蘇生法・AED研修を実施すると共に、新入社員は、西消防署での救急救命講習会を受講しました。また、各施設において防火管理者による消防訓練(消火、通報)を実施しました。	下半期評価
☆☆☆☆	☆☆☆☆		

社会体育施設の利用者に関する業務			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	条例・規則に準じて作成した「事務処理マニュアル」を基に、公の施設の管理者として公平・公正に手続きを行いました。また、総合体育館改修工事に伴い、利用場所の確保のためにふれあい体育館の休館日を開館し、利用者へのサービス向上を図りました。コロナ感染症対策および熱中症対策も施設に応じて適切に行いました。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	条例・規則に準じて作成した「事務処理マニュアル」を基に、公の施設の管理者として公平・公正に手続きを行いました。また、総合体育館改修工事に伴い、利用場所の確保のためにふれあい体育館の休館日を開館し、利用者へのサービス向上を図りました。コロナ感染症対策を施設に応じて適切に行いました。	下半期評価
☆☆☆☆	☆☆☆☆		

社会体育施設の保守点検ならびに清掃などに関する業務			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	利用者による安全・安心に快適にご利用いただけるように 職員による開館前点検・日常の巡回点検を実施しました。総合体育館は外部委託による清掃を行い、より清潔な施設を心掛けました。また、機械設備等の点検は、専門業者に委託し年度計画に沿って行いました。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	利用者による安全・安心に快適にご利用いただけるように 職員による開館前点検・日常の巡回点検を実施しました。総合体育館は外部委託による清掃を行い、より清潔な施設を心掛けました。また、機械設備等の点検は、仕様書で示されている業務については専門業者に委託し年度計画に沿って行いました。	下半期評価
☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業(体育・スポーツ活動等の指導)の実施に関する業務			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	新型コロナウイルス感染症対策として、定員の削減・プログラムの変更・検温や消毒の防止対策等を開催しました。YMITアリーナでは、継続的にスポーツに取り組めるように1期(3ヶ月)の教室を継続して開催し、スポーツの生活への定着化を目指しました。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、教室や開放事業を開催しました。教室参加者対象の利用者アンケートを参考に利用者ニーズに合った事業展開を行いました。継続的にスポーツに取り組めるように継続教室の開催を含め、スポーツの生活への定着化を目指しました。	下半期評価
☆☆☆☆	☆☆☆☆		